

編集
発行名古屋市保健所
感染症対策・調査センター

〒463-8585

名古屋市守山区桜坂四丁目207番地

電話 737-3712 FAX 736-1102

Mail a7373711-07@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp



ホームページ



X(旧Twitter)



YouTube

感染症対策・



調査センター

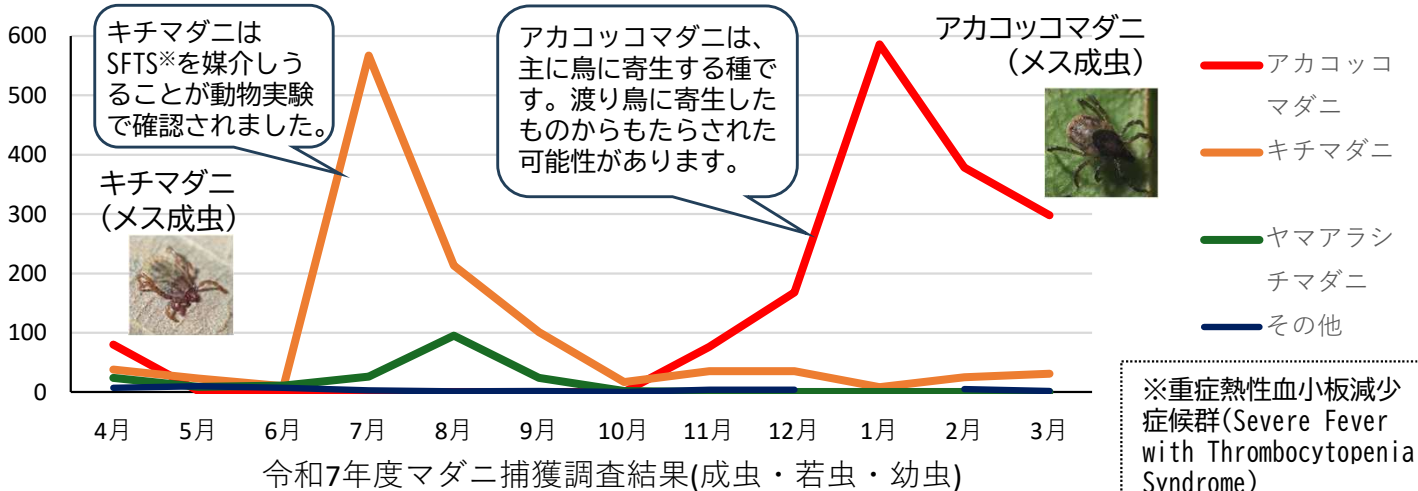
だより

令和7年度のマダニ調査結果について

マダニが媒介する感染症の報告例が全国的に増えています。マダニ媒介感染症のリスクを把握するため、感染症対策・調査センターでは市内のマダニ生息調査を実施しています。

マダニの生息調査

令和7年度は毎月7地点で調査を行いました。令和7年4月から令和8年3月までの計84回の調査で、4属9種2,927頭のマダニを捕獲しました。夏はキチマダニ幼虫が、冬から春にかけてはアカコッコマダニの幼虫が多数捕獲されました。キチマダニは秋から春にかけて成虫が捕獲されています。



こんなマダニも捕獲されています

人への刺咬被害が多く重篤な感染症を媒介するなど、注意が必要なマダニも捕獲されています。



ヤマアラシチマダニ

主に大・中型動物に寄生します。市内でもたくさん捕獲されています。日本紅斑熱を媒介する種とみられています。



タカサゴキララマダニ

ヒト刺症例がとて多いマダニです。成虫の大きさは約1センチメートル！ひときわ大きく、動きがとて素早いです。



ヤマトマダニ

ヒト刺症例がとて多いマダニです。ダニ媒介脳炎ウイルスを媒介することが確認されています。



フトゲチマダニ

日本紅斑熱やSFTSを媒介します。その他の病原ウイルスも媒介する可能性があります。きわめて有害な種として知られています。

蚊の季節 もう始まっています



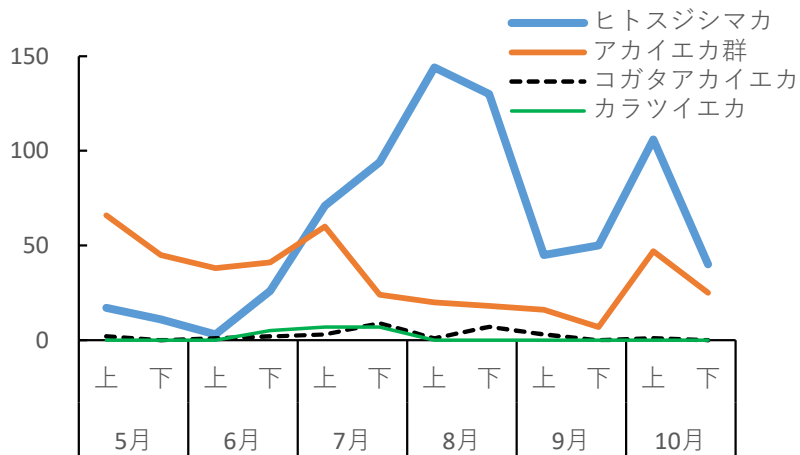
「蚊は夏にでてくるもの」と思われがちですが、蚊の活動は春になると少しずつ始まっています。昨年度、当センターが本市の他の部署と共同で行っている蚊の生息調査では5月上旬から既に蚊の発生が確認されました。

令和7年度生息調査結果

生息調査は市内8地点で実施しました。

うち6地点はCO₂トラップ法（月2回）、2地点は8分間人囀法（月1回）で実施しています。令和7年度のCO₂トラップ法調査では、10種の蚊が捕集され、ヒトスジシマカとアカイエカ群がその約95%を占めました。

また、捕集された蚊は、病気を引き起こすウイルスを持っていないか検査しましたが、ウイルスは検出されませんでした。



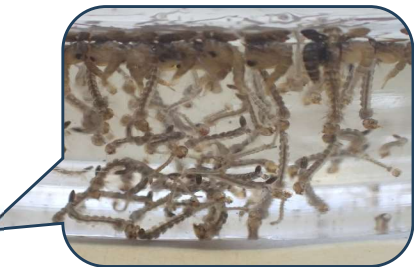
CO₂トラップ法による調査結果（メスの上位4種）

蚊に刺されないために

蚊の中でもヒトスジシマカの幼虫は、植木鉢の受け皿、バケツ、空き容器など、**わずかな水たまりでも発生**します。今のうちから身の周りの水たまりを点検し、**蚊を増やさない環境づくり**に取り組みましょう。

蚊のいそうな場所で活動するときは、長袖・長ズボンなどで肌の露出を少なくし、必要に応じて虫除け剤を使用しましょう。

名古屋市では、6月と7月を蚊防除運動期間として定めています。



センターからのお知らせ

新移送車が寄贈されました！

当センターでは、一類感染症患者、二類感染症患者や新型インフルエンザ等感染症患者在市内で発生した時、各区保健センター所長の依頼に基づき、感染症患者を病院へ移送しています。感染症患者を乗せる車のことを移送車といい、これまでの移送車は患者を寝かせた状態で移送するストレッチャーを使っていましたが、新移送車では車椅子で座位による移送が可能になりました。車椅子の移乗は、電動リフトにより安全に行えます。患者の状態に応じて、両移送車を使い分けることでより適切な移送が行えるようになりました。



電動リフトにより車椅子を車内へ挙上

『感染症対策・調査センターだより』は、名古屋市公式ウェブサイトで創刊号からご覧いただけます。「感染症対策・調査センター」で検索していただくか、右のQRコードをご利用ください。

